

原水協活動推進News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031 FAX：03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年10月27日 No.11

国連軍縮週間

各地で街頭宣伝・署名行動



▲スタート集会に参加するメンバー（24日、広島）

【広島】原爆ドーム前でスタート集会

広島県原水協は10月24日、原爆ドーム前で「国連軍縮週間スタート集会」を行い、40人が参加しました。広島市原水協と共催。

あいにくの雨模様でしたが、高橋代表理事の主催者挨拶につき、古田県原水協事務局長が基調報告をしました。また、広島県被団協、新日本婦人の会県本部、青年の代表が活動報告、参加者全員で「核兵器全面禁止 へ向けて、『核兵器禁止条約』の交渉開始を一被爆65年、2010年国連軍縮週間にあたって被爆地ヒロシマから呼びかける」と題する決議文を採択し、ファックスと速達郵便で首相官邸と在日米大使館に送りました。

【兵庫】雨の中、署名宣伝行動

兵庫県原水協は25日正午、神戸市内で国連軍縮週間の一環としての宣伝・署名行動を行いました。津川知久兵庫県労連議長などが「核兵器廃絶条約の締結の協議開始を」と訴えました。兵庫労連、兵商連、安保破棄実行委員会、国民救援会などから13人が参加し、「核兵器のない世界を」署名を呼びかけました。雨の中でしたが、昼休み中の人々、観光客など47人が署名に応じました。28日にも予定しています。

兵庫県原水協は25日正午、神戸市内で国連軍縮週間の一環

【東京】宣伝カーを走らせ核兵器のない世界を訴える

世田谷原水協は10月25日、国連軍縮週間の行動として、区内に宣伝カーを走らせて「核兵器のない世界を」つくろうと訴えました。区役所前、団地及び駅前と5カ所では車を止めて宣伝をしました。

「核兵器廃絶条約をむすばせよう」—国連提出の署名用紙を500枚配布しました。団地で宣伝していると、手を振って声援をくれる人もいました。道行く人もチラシを受け取っていました。

世田谷では今年3月、区議会が全会派一致で「平和市長会議」加盟を決め、更に、核不拡散条約（NPT）再検討会議を成功させる決議もしました。

世田谷原水協は、今年5月、NPT・ニューヨーク行動の成功を「ホップ」、8月の原水爆禁止世界大会成功を「ステップ」、そして国連軍縮週間行動の成功を「ジャンプ」と運動を展開しています。

10月からの世田谷原水協理事会では被爆者の証言をはじめに聞き、会議を行う事を決めて実行しています。被爆者の証言活動は10年間で4集の証言集をつくっています。



最新情報はコチラ→原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。